福県医発第1279号（総）
平成16年10月16日

815 受付 16.10.18 小郡三井医師会

各医師会長　殿

福岡県医師会
会長　竹嶋　康

「国民皆保険制度を守る国民運動」署名運動のお願い

9月10日の経済財政諮問会議（政府）で、小泉首相は「混合診療については、既に長い間議論を行なってきた。年内に解禁の方向で結論を出して欲しい」と指示しており、混合診療解禁の情勢が急展開を見せております。

日本医師会では、混合診療解禁へ向けた対策を繰り上げ、11月中に標題の国民運動を全国で一斉に行なうことを決定し全国の医師会へ呼びかけております。

ポスターの掲示やチラシの配布、そして署名運動が計画されておりますが、署名運動については、10月20日～24日までに用紙がＡ１会員に日本医師会から直接送付されますので、署名用紙を郡市医師会で取りまとめ、県医師会を経由して日本医師会へ11月中旬までに提出し、国民運動推進協議会（日本医師会）から国会議員へ提出する計画となっております。

詳細は日本医師会のＨＰに掲載されておりますので取り急ぎお知らせいたします。

つきましては、急なお願いで大変恐縮ではございますが、国民運動の趣旨並びに署名運動の重要性をご理解いただき、是非ご協力賜りますようお願い申し上げます。

小郡三井医師会より　　会長　丸山　泉

大変重要な署名です。
私からは、これ以上説明をすることはございません。皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

署名運動の書類一式は日本医師会より直接A会員の先生方へ送付されます。
署名運動を実施していただき11月12日までに当医師会事務局へ「署名用紙」と「会員用集計表」をご提出ください。

MRトップ>

会員用

署名運動実施要領（手引き）

1 関係資料一式（日本医師会ホームページからもダウンロードできます。）

1. 会長挨拶(依頼状)(B5版)
2. ポスター(掲示用 B3版 1枚)
3. チラシ(B5版 100枚 足りない場合は、所属郡市区医師会へお問い合せ下さい。)
4. 趣意書兼署名用紙(B4版 5枚)
   5名用の趣意書兼署名用紙(B5版)が郡市区医師会に用意されていますので、入手希望の場合はお問い合せ下さい。日本医師会ホームページからもダウンロードできます。
5. 会員用集計表(B5版 1枚)
6. 署名運動実施要領(手引き)(B5版 1枚)
7. 署名運動実施スケジュール(B5版 1枚)

2 署名集め上の注意

○ 先生ご自身がまずご署名下さい。
○ 筆記用具はボールペンをご使用下さい。
○ 氏名・住所を自筆で記入して下さい。(印は不要)
○ 代筆の場合もサイン及び印は不要です。
○ 氏名・住所が同じ場合でも略式で記入しないで下さい。(「〃」又は「同」は不可)
○ 署名用紙不足の可能性がある場合は、予めコピーしておくか、日本医師会ホームページからダウンロードして下さい。
○ 趣意書兼署名用紙は切り離すと無効になります。

3 集 計

集めた署名数を会員用集計表(B5版)に記入して下さい。

4 送 付 先

会員用集計表(B5版)とご署名いただいた趣意書兼署名用紙の原本を所属郡市区
医師会「署名運動係」宛に送付して下さい。(コピー及びFAXは不可)

5 送付期限

平成16年11月15日(月)所属郡市区医師会 発送

6 送付費用

誠に恐れ入りますが、先生ご自身でご負担をお願い致しま

す。

7 問い合せ

所属郡市区医師会「署名運動係」宛にお願い致します。

日本医師会ホームページ・メンバーズルーム
http://www.med.or.jp/japanese/members/
Copyright (C) Japan Medical Association.
All rights reserved.

日本医師会

誰もが安心して良い医療を受けられるよう国民皆保険制度を守る署名運動にご協力下さい。

平成十六年十一月二十二日

国民医療推進協議会

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

氏名	住所

会員用集計表

医療機関名（ゴム印等可）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

会　員　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

署　名　数＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿名

送　付　先

所属郡市区医師会宛に

署名済みの「趣意書兼署名用紙」を

この集計表と一緒に**11月12日（金）必着**

で送付して下さい。

都道府県医師会集計

11/18　木

1.速報をEメールにて日本医師会宛に送付
2.署名簿と集計表を日本医師会宛に送付

11/20

土

国民医療推進協議会として請願準備

11/21　日

1.全署名数確定(含 団体別内訳)
2.紹介議員獲得、各議員毎請願書作成、署名簿割当、梱包(提出準備完了)

11/25

木

請願(衆・参両院議長宛 署名簿提出)

11/26　金

(署名簿は11／22 到着分をもって集計締め切り)

日本医師会ホームページ・メンバーズルーム
http://www.med.or.jp/japanese/members/
Copyright (C) Japan Medical Association.
All rights reserved.

MRトップ>

署名運動実施スケジュール

10/5　火　準備開始(趣意書兼署名用紙50万部他)
関係資料一式(ポスター他)10万組 調整

・
・

10/17

日

10/18　月　会員(A1)へ資料直送作業開始

資料が到着次第 署名集め開始

・
・　署名集め終了
・　各会員は署名簿と集計表を郡市区医師会宛
・　に送付

11/15

月

11/16　火　郡市区医師会集計

1.速報をEメール又はFAXにて日本医師会宛
・　に送付
2.署名簿と集計表を都道府県医師会宛に送付

11/17

水

国民皆保険制度を守る署名運動について（お願い）

政府の規制改革・民間開放推進会議は、混合診療の解禁を強く打ち出し、今年中に解禁決定を目論んでおります。

混合診療が解禁されれば、本来、健康保険に導入すべき医学・医療の進歩による新技術が自費扱いにされ、自費医療費の増大を招き、一部の人しか恩恵を享受できず、国民医療の不平等を引き起こすことになります。

自費医療費の増大は利潤追求を目的とした私的医療保険の参入を許し、公的医療保険が縮小・形骸化され、現在の国民皆保険制度は破壊され、その結果、米国のように私的医療保険会社による医療支配を許すことになり、国民に安心で質の高い医療が平等に提供できなくなります。

人の命は平等です。生命と個人の尊厳を守るべき医療の世界に、経済的な弱肉強食（市場原理）の論理を持ち込むことは極めて危険であります。裕福な一部の人のみが優遇され、弱者を切り捨てる政策は容認できません。誰でも、いつでも、どこでも安心して平等に医療を受けられる国民皆保険制度を守るために、いまこそ国民が結束する必要があります。

日本医師会は国民皆保険制度を守るために国民各界各層の団体に幅広く呼びかけ、国民医療推進協議会を結成いたしました。

この運動を強力に推し進めるために、皆様方のご尽力により、一人でも多くの国民の皆様から署名を集めていただき、国民の切なる願いとして国会に請願し、所期の目的を達成する決意でありますので、格段のご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

平成十六年十月十二日

国民医療推進協議会

日　本　医　師　会
会長　植松　治雄

会　員　各　位

日本医師会ホームページ・メンバーズルーム
http://www.med.or.jp/japanese/members/
Copyright (C) Japan Medical Association.
All rights reserved.